

2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月7日
東

上場会社名 JIG-SAW株式会社 上場取引所
コード番号 3914 URL <https://www.jig-saw.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 真考
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 博道 (TEL) 03-6262-5160
四半期報告書提出予定日 2024年5月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	871	8.7	221	2.0	223	2.8	180	24.0
2023年12月期第1四半期	801	9.0	216	28.2	217	31.6	145	23.2

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 206百万円(39.5%) 2023年12月期第1四半期 148百万円(5.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	27.22	27.11
2023年12月期第1四半期	21.94	21.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	3,777	2,813	72.4
2023年12月期	3,492	2,589	72.1

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 2,734百万円 2023年12月期 2,517百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年12月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

ストック型ビジネスの堅調な推移により現時点において過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、国内だけにとどまらないデータコントロール事業の業容拡大やグローバルIoTビジネスの大きな成長及び自動運転ソフトウェアの商用化等への事業投資に加え、SBIグループとの合弁企業設立による欧米・アジア全域に対するビジネス拡大やNTT東日本とのホームIoT分野での業務提携に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	6,751,000株	2023年12月期	6,751,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	107,013株	2023年12月期	146,013株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	6,624,654株	2023年12月期 1 Q	6,626,277株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、サイバー空間とフィジカル空間の一体化(CPS: Cyber Physical Systems)が進展し、フィジカル空間における物理的なやり取りがサイバー空間においてデジタルデータの形で再現され、AI等の活用により、フィジカル空間の随時の状況把握や、その情報を基に次の行動の判断を行うことが可能になると見込まれており、CPSを社会経済活動に最大限活用するデータ主導型のSociety5.0の実現へと向かっております(出典:総務省「令和5年版 情報通信白書」)。

このような環境のなかで、当社グループは、独自に保有する基盤コア技術をベースに、システムマネージ、クラウドマネージ、IoT、IIoT分野に加え、あらゆる物質や細胞にまでリーチするIoE(Everything)、そしてテクノロジーと人間の実質的な統合により、人間の五感を拡張させるIoA(Abilities)分野における研究開発・ビジネスデザイン及び各種取り組みを、国内だけではなく、グローバルにおいても着実に進めております。

当社のクラウド・IoT分野全体を包括するデータコントロール事業の売上は、安定した完全ストック型ビジネス(サブスクリプションモデル及びリカーリングモデル)の継続課金売上と一時的なスポット売上で構成されております。当第1四半期連結累計期間においても、引き続き月額課金案件の受注獲得を推し進め、前年同期と比較して月額課金売上は57,118千円純増しました。これにより、上場以来37四半期連続で過去最高の月額課金売上のプラス成長となり、ウクライナや中東などにおける国際情勢緊迫化に加え、世界的なインフレや金融引き締め及び大幅な為替変動などの影響を受けることなく、極めて堅調に推移しております。なお、中長期的な企業価値の向上と持続的な成長を実現するための人的資本経営の強化に注力し、先行投資は過去最高を超える金額となりました。

世界のIoT市場は2023年の1兆200億ドルから2028年には2兆600億ドルへ拡大すると予測(出典:グローバルインフォメーション「IoTの市場規模とシェア分析-成長動向と予測(2023年~2028年)」)されており、当社グローバルデータコントロールサービスの需要も高まってきております。この急速に拡大している世界のIoT市場において、当社は、来るべきデジタルユニバース時代の中心の1社に位置することを目指し、IoTエンジン「NEQTO」関連技術のライセンス及びOEM提供と普及に向けた取り組みや、国内のみならず北米・欧州・アジア全域を対象にしたグローバルデータコントロールサービスの海外言語オペレーション体制の強化を進めております。また、SBIグループ(SBIセキュリティ・ソリューションズ株式会社)との合弁会社が設立完了し、金融業界を中心とした国内外の新規案件獲得に注力しております。さらに、東日本電信電話株式会社と業務提携し、次世代HOME IoT標準通信規格「Matter」に対応したスマートホーム向けのゲートウェイ及びソフトウェアサービスの領域について共同サービス提供に向けた開発を行っており、両社による商用提供を目指してまいります。一方、各種クラウドを包括管理する「JIG-SAW PRIME」では、取引総額が264,966千円(前年同期比39.4%増)拡大しました。また、今後の高い事業成長を実現すべく、将来に向けた先行投資額は過去最高を更新し、前年同期と比較し約56,000千円増加となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高871,407千円(前年同期比8.7%増)、営業利益221,027千円(前年同期比2.0%増)、経常利益223,480千円(前年同期比2.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益180,311千円(前年同期比24.0%増)となりました。

なお、当社グループはデータコントロール事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、2,546,826千円(前連結会計年度末比65,697千円減)となりました。これは主に、現金及び預金が減少(前連結会計年度末比351,733千円減)した一方で、売掛金が増加(前連結会計年度末比148,167千円増)、その他に含まれる前払費用が増加(前連結会計年度末比136,965千円増)したことによるものであります。

また、固定資産は、1,230,370千円(前連結会計年度末比350,057千円増)となりました。これは主に、敷金及び保証金が増加(前連結会計年度末比283,157千円増)、投資有価証券が増加(前連結会計年度末比59,781千円増)したことによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、3,777,197千円となり、前連結会計年度末に比べ284,359千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、960,633千円（前連結会計年度末比59,324千円増）となりました。これは主に、買掛金が増加（前連結会計年度末比131,598千円増）した一方で、未払法人税等が減少（前連結会計年度末比43,050千円減）したことによるものであります。

また、固定負債は、2,603千円（前連結会計年度末比1,061千円増）となりました。これは主に、その他に含まれる繰延税金負債が増加（前連結会計年度末比1,028千円増）したことによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は、963,237千円となり、前連結会計年度末に比べ60,385千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、2,813,960千円（前連結会計年度末比223,974千円増）となりました。これは主に、自己株式が減少（前連結会計年度末比177,994千円減）、為替換算調整勘定が増加（前連結会計年度末比19,621千円増）、利益剰余金が増加（前連結会計年度末比12,067千円増）したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ストック型ビジネスの堅調な推移により現時点において過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、国内だけにとどまらないデータコントロール事業の業容拡大やグローバルIoTビジネスの大きな成長及び自動運転ソフトウェアの商用化等への事業投資に加え、SBIグループとの合弁企業設立による欧米・アジア全域に対するビジネス拡大やNTT東日本とのホームIoT分野での業務提携に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,480,335	1,128,602
売掛金	1,012,868	1,161,035
その他	126,141	264,790
貸倒引当金	△6,820	△7,601
流動資産合計	2,612,524	2,546,826
固定資産		
有形固定資産	212,570	201,816
無形固定資産	36,624	36,493
投資その他の資産		
投資有価証券	139,206	198,988
敷金及び保証金	333,594	616,752
繰延税金資産	119,964	138,538
その他	54,944	38,651
貸倒引当金	△16,592	△870
投資その他の資産合計	631,118	992,060
固定資産合計	880,313	1,230,370
資産合計	3,492,837	3,777,197
負債の部		
流動負債		
買掛金	543,381	674,979
1年内返済予定の長期借入金	45,000	30,000
未払法人税等	114,650	71,600
その他	198,276	184,054
流動負債合計	901,309	960,633
固定負債		
その他	1,542	2,603
固定負債合計	1,542	2,603
負債合計	902,851	963,237
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,107	351,107
資本剰余金	310,580	310,580
利益剰余金	2,435,249	2,447,317
自己株式	△666,395	△488,401
株主資本合計	2,430,542	2,620,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,677	28,235
為替換算調整勘定	65,591	85,213
その他の包括利益累計額合計	87,268	113,448
新株予約権	72,174	79,907
純資産合計	2,589,986	2,813,960
負債純資産合計	3,492,837	3,777,197

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
売上高	801,481	871,407
売上原価	242,018	249,190
売上総利益	559,463	622,217
販売費及び一般管理費	342,874	401,189
営業利益	216,588	221,027
営業外収益		
受取利息	21	38
受取配当金	1,225	1,733
その他	6	808
営業外収益合計	1,253	2,581
営業外費用		
支払利息	42	17
為替差損	339	—
その他	0	111
営業外費用合計	383	128
経常利益	217,458	223,480
税金等調整前四半期純利益	217,458	223,480
法人税、住民税及び事業税	65,408	62,552
法人税等調整額	6,686	△19,383
法人税等合計	72,094	43,168
四半期純利益	145,363	180,311
親会社株主に帰属する四半期純利益	145,363	180,311

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
四半期純利益	145,363	180,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	552	6,557
為替換算調整勘定	2,130	19,621
その他の包括利益合計	2,683	26,179
四半期包括利益	148,047	206,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,047	206,491
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、ストック・オプションの行使により、利益剰余金が168,244千円及び自己株式が177,994千円減少しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において、利益剰余金が2,447,317千円、自己株式が488,401千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、データコントロール事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。